

令和 5 年 6 月 30 日現在

機関番号：17301

研究種目：基盤研究(C)（一般）

研究期間：2019～2022

課題番号：19K02645

研究課題名（和文）子ども・当事者中心の虐待防止・権利擁護のシステム開発：北欧と日本の国際比較研究

研究課題名（英文）Development of Child- and Party-Centered Abuse Prevention and Rights Protection Systems: An International Comparative Study of Nordic and Japanese Systems

研究代表者

石川 衣紀 (Ishikawa, Izumi)

長崎大学・教育学部・准教授

研究者番号：80584010

交付決定額（研究期間全体）：（直接経費） 3,300,000円

研究成果の概要（和文）：子ども虐待防止支援センター「Barnahus」の基本システムと業務内容は北欧各国で共通しており、虐待等によって危険にさらされている子どもを対象に 子どもの保護、医学的診断と治療、司法面接・裁判上の手続き、心理療法、児童福祉サービスへの移行支援、家族療法・家族の再統合支援が行われている。これらの業務担当は基本的に子ども虐待防止支援センターに一本化されていることが最大の特長である。

子どもを取り巻く「当事者中心の虐待防止・社会的養護と権利擁護のシステム開発」に対しては、学校教育が果たすべき役割が大きいと考えられるが、学校教育間との直接的な連携・支援体制がほぼ構築されていない点が課題である。

研究成果の学術的意義や社会的意義

本研究課題では、北欧各国（スウェーデン・デンマーク・ノルウェー・フィンランド・アイスランド）の子ども・当事者中心の権利擁護システムの特徴を日本の課題との比較において明確にした。日本国内の先行研究において、北欧各国の「子ども権利擁護センターBarnahus」の取り組みを、実際の訪問調査を通して詳細に検討したものはこれまでに例がない。それゆえに本研究の成果を、国内における子ども中心の虐待防止・社会的養護と権利擁護の新たなシステム構築に係る議論の生成と牽引に繋げる過程において、日本の子どもの虐待防止・社会的養護と権利擁護システムの改善・充実に貢献できると考える。

研究成果の概要（英文）：The basic system and work of the Child Abuse Prevention and Support Center "Barnahus" are the same in all Nordic countries. The following services are provided for children at risk due to abuse: (1) child protection, (2) medical diagnosis and treatment, (3) judicial interviews and court proceedings, (4) psychotherapy, (5) support for transition to child welfare services, and (6) family therapy and family reintegration support. The greatest feature of these services is that they are basically centralized in the Child Abuse Prevention and Support Center. School education is considered to have a major role to play in the "development of a party-centered system for abuse prevention, social care, and rights protection" for children, but the fact that direct cooperation and support systems between school education and school education have not yet been established is an issue.

研究分野：特別ニーズ教育

キーワード：北欧福祉国家 子ども虐待防止支援センターBarnahus 権利擁護 国際比較研究

様式 C-19、F-19-1、Z-19（共通）

## 1. 研究開始当初の背景

研究代表者が所属する「北欧福祉国家と子ども・若者の特別ケア」の共同研究チーム（代表：高橋智日本大学文理学部教育学科教授・東京学芸大学名誉教授）では、これまで約30年にわたり、北欧諸国（スウェーデン・デンマーク・ノルウェー・フィンランド・アイスランド）および隣接のエストニアを中心に、特別ニーズ教育や発達支援の観点から北欧諸国の子ども・若者の各種の発達困難の実態と発達支援の課題を検討し、90件以上の学術論文を公刊してきた。

本研究はその一環として、北欧諸国における子ども中心の権利擁護システムの先駆的取り組みである「子ども虐待防止支援センターBarnahus」およびDV・被虐待・ネグレクト等に関わる「当事者支援組織」を訪問調査し、各国の子ども・当事者中心の権利擁護システムの特徴を日本の課題との比較において明確にして、日本において構築すべき子ども・当事者中心の虐待防止・社会的養護と権利擁護のシステム開発の方向性と方法論を提起することである。

現代の急激な社会構造の変化、家庭の経済的格差や養育困難の拡大のなかで、子ども・若者が否応なしに抱え込まざるを得ない「不安・緊張・恐怖・抑うつ・ストレス」等が複雑に絡み合い、「不適応・不登校・中途退学・ひきこもり、インターネット依存・薬物依存、愛着障害・摂食障害・自傷、うつ・自律神経失調・神経症・心身症、自殺、いじめ・暴力・被虐待、触法・非行・犯罪」などの多様な発達困難を有する子ども・若者への発達支援が喫緊の課題となっている。

そうした子ども・若者の抱える発達困難のうち、とりわけ解決や支援の糸口が見えにくい難問が、虐待問題（親の暴言・暴力、ネグレクト、面前DV等）とそれに伴う発達困難（愛着障害、自傷、自殺企図、薬物依存等の各種の依存）であり、子ども・若者の成長・発達が大きく脅かされている現状にある。こうした虐待問題とそれに伴う発達困難への対応は、日本や北欧諸国をはじめ先進国共通の最重要課題である。

## 2. 研究の目的

本研究課題「子ども・当事者中心の虐待防止・権利擁護のシステム開発：北欧と日本の国際比較研究」の目的は、北欧諸国（スウェーデン・フィンランド・ノルウェー・デンマーク・アイスランド）における子ども中心の権利擁護システムの先駆的取り組みである「子ども虐待防止支援センターBarnahus」およびDV・被虐待・ネグレクト等に関わる「当事者支援組織」を訪問調査し、各国の子ども・当事者中心の権利擁護システムの特徴を日本の課題との比較において明確にして、日本において構築すべき子ども・当事者中心の虐待防止・社会的養護と権利擁護のシステム開発の方向性と方法論を提起することである。

本研究の成果を、国内の虐待防止・社会的養護と権利擁護の新たなシステム構築に関する議論の生成と牽引に繋げる過程において、また行政および国内の社会的養護施設等と共有していくことで、日本の子どもの虐待防止・社会的養護と権利擁護システムの改善・充実に大きく貢献できる。

## 3. 研究の方法

- (1) 北欧諸国の「子ども虐待防止支援センターBarnahus」に関する現状と研究動向に関するレビューを行い、本研究の作業課題の具体化と作業仮説を明らかにする。
- (2) 日本における虐待防止・社会的養護と権利擁護に関する現状と研究動向に関するレビューを行い、「子ども虐待防止支援センターBarnahus」との比較検討のための作業課題の具体化と作業仮説を明らかにする。
- (3) 北欧各国（スウェーデン・フィンランド・ノルウェー・デンマーク・アイスランド）に設置されている「子ども虐待防止支援センターBarnahus」および子どもの権利擁護団体・当事者組織を訪問調査し、担当者から聞き取り調査を行う。

## 4. 研究成果

### (1) 研究の主な成果

本研究課題では4回にわたり北欧諸国（スウェーデン・デンマーク・フィンランド）への訪問調査を実施した。またそれ以前に、ノルウェー・アイスランドにおける「子ども虐待防止支援センターBarnahus」の訪問調査も実施している。

#### ①スウェーデン「子どもの権利擁護全国組織 BRIS」

BRISの活動指針は、すべての子ども・若者が個性やニーズ、誠実さを有しているという前提のもとに、子ども・若者固有の権利が認識・尊重・擁護されるということである。この活動指針のもとに「多様な困難を抱えた若者やその家族のサポート」「生活環境や人権を改善するための若者に対するニーズ調査」「子どもの権利擁護に関わる諸団体との連携」「社会や政府への啓発・提言」などの多岐に渡る活動を展開している。

18歳未満の子ども・若者の相談支援はBRIS専属の「カウンセラー」が実施しており、電話・チャット・Eメール等を活用したオンライン・サポートが基本形態である。オンライン・サポートは基本的には子ども・若者が対象であるが、家族や関係する大人からの相談にも応じている。また、子ども・若者とその家族を対象にしたグループ・サポートも実施している。

相談はすべて匿名かつ無料であり、年間約27,000件の相談がなされている。相談内容は、①精神的困難（精神疾患、自殺念慮、自傷、摂食障害等）、②家庭不和、③家族からの暴言・暴力、④学校関係、⑤友人関係、⑥大人になることへの不安、⑦利用可能な社会的サービスの種類、⑧愛情・愛着、⑨ストレス、⑩依存症などの困難を抱えた親との関わり等が挙げられる。

多くの子ども・若者は「どのようにして助けを求めたらいいかわからない」ため、支援に繋がりやすく、子ども・若者本人や家族がアクセスしやすいサービス提供が求められている。こうした施設の存在は、子ども・当事者中心の虐待防止・社会的養護と権利擁護のシステム開発の視点からも示唆に富むものであると言える。

### ②デンマーク「コペンハーゲン子どもの虐待防止支援センター Børnehus Hovedstaden i København」

2013年10月、デンマークは「虐待パッケージ」と呼ばれる広範な法改正を実施し、その枠組の中で10月1日に Børnehus が首都コペンハーゲンに最初に開設された。

この「虐待パッケージ」の一環として「サービス法」第50a条から第50c条が新設され、第50a条において「地域の市議会は、子どもや若者に虐待またはその疑いがある場合に、子どもや若者の状況を調査するために各地域に Børnehus を設立しなければならない」と規定された。すなわち各自治体は Børnehus の設置が義務付けられるようになり、第50b条でその利用が義務付けられている。さらに Børnehus を位置づける法令として「Børnehus に関する規則」が2013年に新たに制定され、Børnehus を活用して子ども虐待の調査や子どもの保護等がなされていく場合、その対応完了に至るまで一切の責務を自治体が負うことが明記された。Børnehus の活用等について自治体への法的義務が明記されているのは北欧諸国ではデンマークのみであり、Børnehus 設置後発のデンマークにおける最大の特長である。

Børnehus 運営の中心は心理士が担うが、子どもへの司法面接は警察官の役割となっている。子ども虐待問題に関する訓練を受けた警察官が私服で対応し、面接の様子を別の警官、医師、弁護士、検察官、ケースワーカー、自治体職員、Børnehus スタッフが別室でモニターによって視聴する。司法面接で重視されているのは面接中に子どもに自由に絵やイラストを書かせる取り組みであり、子どもの内面がより引き出せるように工夫している。デンマークではとくに、子ども虐待対応における児童福祉サービスの支援・拡充も Børnehus の重要な役割とされている。児童福祉的機能がとくに重視されている点は、他の北欧諸国には見られないデンマークの Børnehus の大きな特長である。



Børnehus コペンハーゲンの外観



子どものための待合室



医務室(虐待等の法医学的検査と治療処置)

### ③フィンランド「ヘルシンキ大学病院青少年司法心理学センター」

フィンランドでは2006年に「ヘルシンキ大学病院青少年司法心理学センター」が設置され、当センターが他の北欧諸国における「子ども虐待防止支援センター Barnahus」の役割を担う。ヘルシンキ大学に所属する子ども虐待・性犯罪専門の心理学者が司法面接を行っているほか、子ども虐待を扱う警察官・社会福祉士への実地研修、虐待案件の捜査手順への指導助言など、教育研究機関としての大学が中心となってシステムを運用している。

チームは心理学、法医学、小児科学、児童精神医学およびソーシャルワーク等の複数の専門家チームで構成され、インタビューを行う。警察およびソーシャルワーカーは専門研修（年間10セミナー）を受けることが法律で定められている。その他、子どもへの暴力・性的虐待、子どもの心的外傷体験の影響に関する評価、審査手順に関する相談、職員研修も提供している。

司法面接に関して、聴取の多くは警察によって行われるが、特に発達障害等の特別な対応が必要な場合には警察ではなく当センターで行うことが多い。精神科ユニットでは子どものインタビューを専門とする心理士によって対応している。聴取の前には「子どもとその家族および関連当事者の状況」「犯罪の疑いに関連する問題の特定」「子どもの成長・発達に関する情報」等の必

要な背景情報が集められたうえで面接が実施される（子どもへの面接は通常1～2回）。

#### ④フィンランド「国立健康福祉研究所 子ども・若者・家族セクション」

国立健康福祉研究所（THL）は国民の健康・福祉の促進を目的に2009年に設立された社会保健省管轄の機関である。フィンランドでは人々の健康・福祉に関する主たる責任を地方自治体が負っているが、THLはそれら地方自治体や国の意思決定者、社会福祉・保健セクターの関係者や関連分野の研究者のための研究開発機関である。

フィンランドでは2016～2019年に家族支援サービスの改善プログラムが実施され、この実施内容に基づいて全国に「子ども・家庭サポートセンター」が開設されていき、訪問調査当時（2019年9月）では138ヶ所設置されていた。地域によってはセンターに児童精神科医が常駐して、社会福祉士とともに児童虐待にも対応している。「子ども・家庭サポートセンター」の今後の課題としては、家庭内暴力や児童虐待に至る前の対応の充実化があげられる。フィンランドの2018年度の0～14歳の子どもへの虐待件数は約8300件である。男児は身体的虐待の割合が多く、特に女児は性的虐待とDV被害が多いがケアを受けにくい現状にあることが大きな課題となっている。ヘルシンキ大学病院青少年司法心理学センターは実際の子どもの虐待事案における司法面接等を担うのに対し、子ども・家庭サポートセンターは広く子育て支援を行い、家庭内暴力や児童虐待を予防・回避していく側面に重点が置かれている。

## (2)考察と今後の課題

研究代表者らはこれまでにスウェーデン・ノルウェー・アイスランドにおける「子ども虐待防止支援センターBarnahus」の訪問調査も実施しており、本研究課題と合わせて北欧福祉国家5ヶ国における比較検討も行った。

子ども虐待防止支援センターの基本システムと業務内容は共通しており、虐待等によって危険にさらされている子どもを対象に、①子どもの保護、②医学的診断と治療、③司法面接・裁判上の手続き、④心理療法、⑤児童福祉サービスへの移行支援、⑥家族療法・家族の再統合支援が行われている。これらの業務担当は基本的に子ども虐待防止支援センターに一本化されていることが最大の特長である。

業務において特に重要な任務が司法面接であり、ここで重視されることは被害を受けた子どもが安心・安全な雰囲気のもとで話ができる環境の保障である。そのために面接室は家庭的デザインが重視され、子どもはソファに座りながらゆったりと面接を受けられる環境が整っていた。子どもの証言は録画記録されて裁判所へ提出され、直接裁判所まで出向いて証言する精神的・身体的負担を子どもに負わせないように配慮されている。対象児が知的障害・発達障害等の発達困難を有する場合には、イラストなどを使ってできる限り理解を促す取り組みも始められている。



司法面接室(Barnahus アイスランド) 司法面接室と裁判所はオンラインで繋がっている(Barnahus アイスランド)

システムの詳細面では北欧諸国間で差異が見られた。例えば、デンマークは唯一、Barnahusの運用に関する単独法令を有しており、子ども虐待事案においてBarnahus活用の義務を自治体に課している。子どもへの司法面接では、スウェーデンとノルウェーでは専門の訓練を受けた警察官が主に実施し、アイスランドとデンマークでは心理士が主に実施している。スウェーデンとノルウェーは警察署との連携が特に重視され、スウェーデンのBarnahusには警察官が常駐しているほか、ノルウェーのBarnahusはすべて警察の監督下に置かれている。アイスランドの場合は児童保護庁が、デンマークでは社会庁がそれぞれBarnahus組織を統括しているが、スウェーデンではそのような監督機関は定められていない。

子どもを取り巻く「当事者中心の虐待防止・社会的養護と権利擁護のシステム開発」に対しては、学校教育が果たすべき役割が大きいと考えられるが、現状では「子どもの権利擁護センターBarnahus」と学校教育間の直接的な連携・支援体制はほぼ構築されていない点が課題である。

日本においても子ども虐待防止・支援は喫緊の課題である。北欧諸国の対応例を参考に、子ど



もの視点にたった虐待防止・被虐待対応（家族支援含む）の体制構築に取り組むことが緊急に求められている。とくに新型コロナウイルス感染症（COVID-19）パンデミックの発生により、子どもの生活環境が一変して、子どもの「いのち・生活・学習・発達」などに多大な影響を及ぼしている。パンデミック以前より各種の発達の困難・リスクを抱える子どもが抑圧され、権利保障が十分になされていない状況において感染症災害が発生し、子どもの発達困難・リスクが急激に顕在化している。子ども虐待や家庭内不和も世界各国で一層深刻化している。

こうしたコロナ禍において Barnahus が子どもの発達困難をどのように把握し、どのような役割を果たしてきているのかについて明らかにされておらず、今後の重要な研究課題である。

### (3)受賞

1. 田部絢子・高橋智（2019）『発達障害等の子どもの食の困難と発達支援』風間書房により「2021年度日本特別ニーズ教育学会文献賞」受賞、「第18回杉田玄白賞奨励賞」受賞
2. 柴田真緒・高橋智（2020）『発達障害当事者の睡眠困難と発達支援の研究』風間書房により「2021年度日本特別ニーズ教育学会文献賞」受賞。

### (4)主な研究成果論文

- 石井智也・田部絢子・石川衣紀・内藤千尋・池田敦子・柴田真緒・能田昂・田中裕己・高橋智（2021）スウェーデンにおける発達障害当事者組織による当事者支援—発達障害当事者組織「Attention」への訪問調査を通して—、『日本福祉大学スポーツ科学論集』4、pp.93-97。
- 石川衣紀・内藤千尋・田部絢子・石井智也・能田昂・柴田真緒・池田敦子・田中裕己・高橋智（2020）北欧における子どもの虐待と「子ども虐待防止支援センター（Barnahus）」の取り組み—デンマーク・フィンランドへの訪問調査から—、『東京学芸大学紀要総合教育科学系Ⅰ』第71集、pp.177-191。
- 内藤千尋・田部絢子・石川衣紀・石井智也・能田昂・柴田真緒・神長涼・高松健太・高橋智（2019）北欧における子どもの虐待・家庭内暴力の問題と「子どもの権利擁護センター」の取り組み—スウェーデン・アイスランド・ノルウェーへの訪問調査から—、『東京学芸大学紀要（総合教育科学系Ⅰ）』第70集、pp.265-279。
- 内藤千尋・田部絢子・高橋智（2020）「発達上の課題を有する在院者に対する処遇プログラム実施ガイドライン」の検討と改善課題—発達上の課題・困難を有する少年院在院者への面接法調査を通して—、『矯正教育研究』第65巻、pp.114-121、日本矯正教育学会。（審査有）
- 内藤千尋・田部絢子・石井智也・能田昂・石川衣紀・高橋智（2022）スウェーデンにおける多様な発達困難を有する子ども・若者の発達支援—「BRIS（Barnens Rätt i Samhället：社会における子どもの権利）」の訪問調査から—、『山梨大学教育学部紀要』第32号、pp.51-61。
- 内藤千尋・田部絢子・高橋智（2023）少年院における発達上の課題・困難を有する少年の発達支援に係る研究動向、『矯正教育研究』第68巻、pp.90-97、日本矯正教育学会。（審査有）
- 柴田真緒・平井優美・高橋智（2020）発達障害を有する子ども・若者のSNS使用の現状と課題—当事者調査から—、『SNEジャーナル』第26巻1号、pp.103-116、日本特別ニーズ教育学会。（審査有）
- 田部絢子・石川衣紀・内藤千尋・石井智也・池田敦子・柴田真緒・能田昂・田中裕己・高橋智（2020）北欧と日本の児童虐待防止システムの実態と課題に関する比較調査研究—北欧の「子どもの虐待防止支援センターBarnahus」を中心に—、『未来教育研究所紀要』第8号、pp.13-22。（審査有）
- 高橋智・内藤千尋・田部絢子（2020）少年院における発達上の課題・困難を有する少年への面接・発達相談の試み、『刑政』第131巻4号、pp.42-51、公益財団法人矯正協会。（審査有）
- 高橋智・内藤千尋・田部絢子（2021）ノルウェーにおける依存症を親にもつ子ども・若者の当事者支援—当事者支援組織「Barn Av Rusmisbrukere」の訪問調査から—、『矯正教育研究』66、日本矯正教育学会、pp.81-86。（審査有）
- 高橋智（2021）発達障害当事者とSNS使用『チャイルド・サイエンス』Vol.22、pp.4-7、日本子ども学会。（審査有）
- 高橋智・内藤千尋・田部絢子（2022）少年院在院者の支援ニーズからみた少年院・矯正教育の検討課題、『矯正教育研究』第67巻、pp.104-111、日本矯正教育学会。（審査有）
- 田中裕己・田部絢子・内藤千尋・高橋智（2020）児童心理治療施設入所の子どもが有する発達困難と発達支援の課題—全国の児童心理治療施設職員調査から—『SNEジャーナル』第26巻1号、pp.150-161、日本特別ニーズ教育学会。（審査有）

## 5. 主な発表論文等

〔雑誌論文〕 計99件（うち査読付論文 23件 / うち国際共著 0件 / うちオープンアクセス 42件）

1. 著者名 高橋智	4. 巻 50
2. 論文標題 スウェーデンにおける病気の子どもの教育ケアの動向	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 障害者問題研究	6. 最初と最後の頁 43-48
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 石井智也・田部絢子・能田昂・石川衣紀・内藤千尋・池田敦子・柴田真緒・高橋智	4. 巻 83
2. 論文標題 デンマークにおける病気の子どもの特別教育の実際	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 尚綱学院大学紀要	6. 最初と最後の頁 33-46
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） 10.24511/00000576	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている（また、その予定である）	国際共著 -

1. 著者名 能田昂・田部絢子・石井智也・石川衣紀・内藤千尋・池田敦子・柴田真緒・高橋智	4. 巻 83
2. 論文標題 デンマークにおける病気の子どもの特別教育システムの動向 歴史的変遷と現行の特別教育制度を中心に	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 尚綱学院大学紀要	6. 最初と最後の頁 17-32
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） 10.24511/00000575	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 能田昂・田部絢子・石井智也・石川衣紀・内藤千尋・池田敦子・柴田真緒・高橋智	4. 巻 84
2. 論文標題 新型コロナ後遺症（Long COVID）と子どもの発達困難・リスクに関する研究動向	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 尚綱学院大学紀要	6. 最初と最後の頁 51-66
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） 10.24511/00001157	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている（また、その予定である）	国際共著 -

1. 著者名 石井智也・内藤千尋・田部絢子・石川衣紀・能田昂・池田敦子・柴田真緒・高橋智	4. 巻 16
2. 論文標題 デンマークのインクルーシブ教育における視覚障害児教育の動向	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 東海学院大学紀要	6. 最初と最後の頁 129-136
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.24478/00003837	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 石井智也・内藤千尋・田部絢子・石川衣紀・能田昂・池田敦子・柴田真緒・高橋智	4. 巻 16
2. 論文標題 スウェーデンのインクルーシブ教育における視覚障害児教育の動向	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 東海学院大学紀要	6. 最初と最後の頁 137-144
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.24478/00003838	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 能田昂・田部絢子・高橋智	4. 巻 25
2. 論文標題 アイスランドにおけるコロナ禍に伴う子どもの発達リスクと学校教育の動向	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 チャイルド・サイエンス	6. 最初と最後の頁 35-39
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 能田 昂、田部 絢子、石川 衣紀、内藤 千尋、池田 敦子、石井 智也、柴田 真緒、高橋 智	4. 巻 81
2. 論文標題 スウェーデンにおける障害者雇用・就労支援の動向 : 国営企業「サムハル (Samhall AB)」への訪問調査から	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 尚綱学院大学紀要	6. 最初と最後の頁 77-84
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.24511/00000532	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 石井智也・田部絢子・石川衣紀・内藤千尋・池田敦子・柴田真緒・能田昂・高橋智	4. 巻 81
2. 論文標題 フィンランドにおける知的障害・自閉症等の重度障害を有する子どもの短期・一時ケア施設と「生活と発達」の支援：ヴァンター（Vantaa）市の「アルマ（Alma）」への訪問調査を通して	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 尚綱学院大学紀要	6. 最初と最後の頁 69-76
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） 10.24511/00000530	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている（また、その予定である）	国際共著 -

1. 著者名 石川 衣紀 , 田部 絢子 , 内藤 千尋 , 池田 敦子 , 石井 智也 , 柴田 真緒 , 能田 昂 , 田中 裕己 , 高橋 智	4. 巻 20
2. 論文標題 スウェーデンにおける障害者の学び直しと生涯学習・発達の保障：「ヴェスタンヴィーク聴覚障害国民大学（Vastanviks folkhögskola）」の訪問調査から	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 長崎大学教育学部教育実践研究紀要	6. 最初と最後の頁 1-10
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている（また、その予定である）	国際共著 -

1. 著者名 石川 衣紀, 田部 絢子, 内藤 千尋, 石井 智也, 能田 昂, 高橋 智	4. 巻 20
2. 論文標題 スウェーデンにおける子ども病院と病院内教育の実際：ストックホルム市「サククス子ども病院」の訪問調査から	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 長崎大学教育学部教育実践研究紀要	6. 最初と最後の頁 11-19
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている（また、その予定である）	国際共著 -

1. 著者名 高橋智・石川衣紀・田部絢子・石井智也・能田昂・内藤千尋・池田敦子・柴田真緒・田中裕己	4. 巻 102
2. 論文標題 スウェーデンにおけるインクルーシブ教育と知的障害特別学校の役割 スtockホルム市の二つの基礎特別学校の訪問調査から	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 日本大学文理学部人文科学研究所研究紀要	6. 最初と最後の頁 183-193
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） 10.15006/chs20101102011	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている（また、その予定である）	国際共著 -



1. 著者名 能田 昂 , 石川 衣紀 , 田部 絢子 , 高橋 智	4. 巻 27
2. 論文標題 スウェーデンにおけるコロナ禍と子どもの発達危機に関する動向	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 SNEジャーナル	6. 最初と最後の頁 158-168
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 石井智也・石川衣紀・田部絢子・池田敦子・高橋智	4. 巻 15
2. 論文標題 スウェーデンにおけるインクルーシブ教育と肢体不自由(移動障害)教育の動向	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 東海学院大学紀要	6. 最初と最後の頁 79-89
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.24478/00003782	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 能田昂・田部絢子・石井智也・内藤千尋・石川衣紀・池田敦子・高橋智	4. 巻 82
2. 論文標題 スウェーデンの知的障害特別学校と障害の重い子どもの教育：ストックホルム市のモッカシネン特別基礎学校の訪問調査から	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 尚綱学院大学紀要	6. 最初と最後の頁 83-96
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.24511/00000552	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 田部絢子・石井智也・石川衣紀・内藤千尋・能田昂・池田敦子・高橋智	4. 巻 82
2. 論文標題 スウェーデンにおけるインクルーシブ教育と知的障害特別高校の意義・役割：ストックホルムの聖エリク特別高校の訪問調査から	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 尚綱学院大学紀要	6. 最初と最後の頁 97-109
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.24511/00000553	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 高橋智・田部絢子・石川衣紀・内藤千尋	4. 巻 103
2. 論文標題 肢体不自由・知的障害等の重度重複障害当事者と感覚を通じた発達支援：デンマークの国際スヌーズレン協会への訪問調査から	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 日本大学文理学部人文科学研究所紀要	6. 最初と最後の頁 121-133
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている（また、その予定である）	国際共著 -

1. 著者名 高橋智・能田昂・石川衣紀・石井智也・田部絢子	4. 巻 103
2. 論文標題 北欧諸国のコロナ禍における子どもの発達危機と発達支援に関する動向 ノルウェー・フィンランドを中心に	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 日本大学文理学部人文科学研究所紀要	6. 最初と最後の頁 135-147
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている（また、その予定である）	国際共著 -

1. 著者名 石川衣紀・田部絢子・石井智也・内藤千尋・能田昂・高橋智	4. 巻 8
2. 論文標題 アイスランドの特別ニーズ教育と発達支援の政策動向 アイスランド教育科学文化省と保健省の訪問調査から	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 長崎大学教育学部紀要	6. 最初と最後の頁 43-58
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている（また、その予定である）	国際共著 -

1. 著者名 石川衣紀・田部絢子・石井智也・内藤千尋・能田昂・柴田真緒・池田敦子・高橋智	4. 巻 8
2. 論文標題 デンマークにおける肢体不自由（運動障害）教育システムの動向 インクルーシブ教育における肢体不自由（運動障害）特別学校・学級の意義と役割	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 長崎大学教育学部紀要	6. 最初と最後の頁 59-74
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている（また、その予定である）	国際共著 -

1. 著者名 田部絢子・石井智也・内藤千尋・石川衣紀・能田昂・池田敦子・高橋智	4. 巻 14
2. 論文標題 フィンランドにおける国立特別教育研究機関と国立特別学校の役割 国立学習支援研究センターValteriと併設国立特別学校Ruskisの訪問調査から	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 金沢大学人間社会研究域学校教育系紀要	6. 最初と最後の頁 61-71
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.24517/00065763	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 内藤千尋・田部絢子・石井智也・能田昂・石川衣紀・高橋智	4. 巻 32
2. 論文標題 スウェーデンにおける多様な発達困難を有する子ども・若者の発達支援 「BRIS (社会における子どもの権利)」の訪問調査から	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 山梨大学教育学部紀要	6. 最初と最後の頁 51-61
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.34429/00005071	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 内藤千尋・田部絢子・石井智也・石川衣紀・能田昂・池田敦子・高橋智	4. 巻 32
2. 論文標題 スウェーデンにおける精神障害者の地域ケア 精神障害当事者支援組織「フォンテンヒュス・フェンダール支部」の訪問調査から	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 山梨大学教育学部紀要	6. 最初と最後の頁 39-50
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.34429/00005070	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 池田敦子・田部絢子・石井智也・内藤千尋・能田昂・石川衣紀・柴田真緒・高橋智	4. 巻 7
2. 論文標題 スウェーデンにおける病気の子どもの特別教育システムと支援の実際	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 東海学院大学研究年報	6. 最初と最後の頁 79-95
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.24478/00003797	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 石井智也・能田昂・田部絢子・高橋智	4. 巻 7
2. 論文標題 デンマークにおけるコロナ禍と子どもの「いのち・生活・発達の危機」に関する動向	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 東海学院大学研究年報	6. 最初と最後の頁 115-123
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.24478/00003799	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 内藤千尋・田部絢子・石川衣紀・石井智也・池田敦子・柴田真緒・能田昂・田中裕己・高橋智	4. 巻 4
2. 論文標題 フィンランドにおける多様な発達困難を有する若者支援の動向 「ユースセンター」の訪問調査から	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 松本大学教育総合研究	6. 最初と最後の頁 109-116
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 内藤千尋・石川衣紀・田部絢子・高橋智	4. 巻 4
2. 論文標題 北欧の刑務所における発達困難を有する若年受刑者の特別ケアの動向 フィンランドとノルウェーの刑務所訪問調査から	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 松本大学教育総合研究	6. 最初と最後の頁 117-127
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 石井智也・田部絢子・石川衣紀・内藤千尋・池田敦子・柴田真緒・能田昂・田中裕己・高橋智	4. 巻 4
2. 論文標題 スウェーデンにおける発達障害当事者組織による当事者支援 発達障害当事者組織「Attention」への訪問調査を通して	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 日本福祉大学スポーツ科学論集	6. 最初と最後の頁 93-97
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 石井智也・田部絢子・石川衣紀・能田昂・高橋智	4. 巻 4
2. 論文標題 デンマークにおける特別学校（知的障害・自閉症）の役割 Brondagerskolen特別学校とGrydemoseskolen併設TeamV特別学校の訪問調査から	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 日本福祉大学スポーツ科学論集	6. 最初と最後の頁 99-105
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている（また、その予定である）	国際共著 -

1. 著者名 石川衣紀・田部絢子・内藤千尋・池田敦子・石井智也・柴田真緒・能田昂・田中裕己・高橋智	4. 巻 7
2. 論文標題 スウェーデンの特別教育における専門行政機関の役割 「特別ニーズ教育庁」の訪問調査から	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 長崎大学教育学部紀要	6. 最初と最後の頁 85-93
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている（また、その予定である）	国際共著 -

1. 著者名 石川衣紀・田部絢子・高橋智	4. 巻 7
2. 論文標題 スウェーデンにおける子ども・若者の「不登校・ひきこもり」問題と当事者中心の支援	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 長崎大学教育学部紀要	6. 最初と最後の頁 95-106
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている（また、その予定である）	国際共著 -

1. 著者名 田部絢子, 石川衣紀, 内藤千尋, 池田敦子, 石井智也, 柴田真緒, 能田昂, 田中裕己, 高橋智	4. 巻 13
2. 論文標題 スウェーデンの就学前学校におけるアレルギー対応支援 マルメ市の「アレルギー専用就学前学校（Anggardens Allergiforskola）」への訪問調査から	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 金沢大学人間社会研究域学校教育系紀要	6. 最初と最後の頁 115-123
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている（また、その予定である）	国際共著 -



1. 著者名 田部絢子・高橋智	4. 巻 13
2. 論文標題 フィンランドにおける子ども・若者の摂食障害と支援の動向 ヘルシンキ大学病院精神科摂食障害ユニットと摂食障害専門ケアセンターの訪問調査から	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 金沢大学人間社会研究域学校教育系紀要	6. 最初と最後の頁 125-137
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 田部絢子・石川衣紀・内藤千尋・石井智也・池田敦子・柴田真緒・能田昂・田中裕己・高橋智	4. 巻 8
2. 論文標題 北欧と日本の児童虐待防止システムの実態と課題に関する比較調査研究 北欧の「子どもの虐待防止支援センターBarnahus」を中心に	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 FERI未来教育研究所紀要	6. 最初と最後の頁 13-22
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 高橋智・石井智也・田部絢子・石川衣紀・能田昂・内藤千尋	4. 巻 71
2. 論文標題 デンマークにおける重度障害の子ども・若者の生活ケアと発達支援 コペンハーゲンの重度障害居住施設「障害児センター・白鳥の家」の訪問調査から	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 東京学芸大学紀要 (総合教育科学系)	6. 最初と最後の頁 149-159
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 石川衣紀・内藤千尋・田部絢子・石井智也・能田昂・柴田真緒・池田敦子・田中裕己・高橋智	4. 巻 71
2. 論文標題 ) 北欧における子どもの虐待と「子ども虐待防止支援センター (Barnahus)」の取り組み デンマーク・フィンランドへの訪問調査から	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 東京学芸大学紀要 (総合教育科学系)	6. 最初と最後の頁 177-191
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 田部絢子・高橋智	4. 巻 71
2. 論文標題 スウェーデンにおける摂食障害と「子ども・家族包括型発達支援」の課題 摂食障害センターおよび摂食障害当事者組織の訪問調査から	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 東京学芸大学紀要（総合教育科学系）	6. 最初と最後の頁 161-175
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている（また、その予定である）	国際共著 -

1. 著者名 高橋智・内藤千尋・田部絢子	4. 巻 66
2. 論文標題 ノルウェーにおける依存症を親にもつ子ども・若者の当事者支援 当事者支援組織「Barn Av Rusmisbrukere」の訪問調査から	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 矯正教育研究	6. 最初と最後の頁 81-86
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 高橋智	4. 巻 89
2. 論文標題 コロナ禍における子どもの「いのち・生活・発達」の危機と学校教育の意義・役割（日本教育学会第80回大会報告；公開シンポジウム・コロナが投影する学校教育の「本質」）	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 教育学研究	6. 最初と最後の頁 87-89
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 能田昂・高橋智	4. 巻 28
2. 論文標題 スペイン風邪パンデミック（1918-1920）における日本の子どもと学校教育	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 SNEジャーナル	6. 最初と最後の頁 123-135
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 田部絢子・高橋智	4. 巻 28
2. 論文標題 コロナ禍における子どもの食の困難・リスクに関する動向	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 SNEジャーナル	6. 最初と最後の頁 136-147
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 高橋智・田部絢子・内藤千尋・石川衣紀・能田昂・石井智也・池田敦子・柴田真緒	4. 巻 -
2. 論文標題 コロナ禍における子どもの生活実態と支援ニーズ 全国の小中高校生調査から	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 Society5.0に対応する学校教育に関する基礎的研究 日本大学文理学部人文科学研究共同研究	6. 最初と最後の頁 49-57
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 高橋智・田部絢子・柴田真緒・石川衣紀・内藤千尋・能田昂	4. 巻 105
2. 論文標題 コロナ禍における子どもの「生活・学習・発達」の困難と支援ニーズ 全国の小中高校生調査から	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 日本大学文理学部人文科学研究紀要	6. 最初と最後の頁 1-17
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 石川衣紀・池田敦子・田部絢子・石井智也・内藤千尋・能田昂・柴田真緒・高橋智	4. 巻 9
2. 論文標題 コロナ禍と障害を有する子どもの「いのち・生活・発達」の困難・リスクに関する動向 肢体不自由・重症心身障害・病弱を中心に	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 長崎大学教育学部紀要	6. 最初と最後の頁 79-96
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 田部絢子・石井智也・柴田真緒・内藤千尋・能田昂・石川衣紀・池田敦子・高橋智	4. 巻 15
2. 論文標題 コロナ禍と障害を有する子どもの「いのち・生活・発達」の困難・リスクに関する動向 知的障害・発達障害を中心に	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 金沢大学人間社会研究域学校教育系紀要	6. 最初と最後の頁 39-55
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 能田昂・田部絢子・高橋智	4. 巻 25
2. 論文標題 アイスランドにおけるコロナ禍に伴う子どもの発達リスクと学校教育の動向	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 チャイルド・サイエンス	6. 最初と最後の頁 35-39
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 高橋智・菅井遥・能田昂	4. 巻 6720
2. 論文標題 対人意識や進路選択に影響 東日本大震災の被災体験とその発達の影響	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 内外教育	6. 最初と最後の頁 6-9
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 高橋智・菅井遥・能田昂	4. 巻 6722
2. 論文標題 高3の28.3%、進路に影響 東日本大震災の被災体験とその発達の影響	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 内外教育	6. 最初と最後の頁 10-13
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 高橋智・菅井遥・能田昂	4. 巻 6725
2. 論文標題 長期間続く多様な不安・困難 東日本大震災の被災体験とその発達の影響	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 内外教育	6. 最初と最後の頁 14-17
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 高橋智・菅井遥・能田昂	4. 巻 6727
2. 論文標題 信頼できる大人の対応が重要 東日本大震災の被災体験とその発達の影響 (完)	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 内外教育	6. 最初と最後の頁 10-13
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 高橋智・堀田らな	4. 巻 46 (4)
2. 論文標題 鈴木航氏自死裁判にみる障害者雇用における障害者の尊厳	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 障害者問題研究	6. 最初と最後の頁 27-31
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 高橋智・内藤千尋・田部絢子	4. 巻 6730
2. 論文標題 ADHDの教師が子ども時代を振り返る 発達障害当事者の声に探るその困難と理解・支援ニーズ	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 内外教育	6. 最初と最後の頁 6-9
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -



1. 著者名 高橋智・田部絢子・石川衣紀・内藤千尋	4. 巻 70
2. 論文標題 北欧における障害者の生涯学習と発達支援 スウェーデン・デンマーク・アイスランドへの訪問調査を通して	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 東京学芸大学紀要(総合教育科学系)	6. 最初と最後の頁 217-234
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 田部絢子・石川衣紀・内藤千尋・高橋智	4. 巻 70
2. 論文標題 北欧における特別学校と障害の重い子どもへの取り組み スウェーデン・デンマークへの訪問調査を通して	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 東京学芸大学紀要(総合教育科学系)	6. 最初と最後の頁 235-246
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 石川衣紀・田部絢子・内藤千尋・石井智也・能田昂・柴田真緒・高橋智	4. 巻 70
2. 論文標題 北欧における発達障害等を有する子どもの発達支援の取り組み スウェーデンとアイスランドの医療機関・発達支援機関への訪問調査から	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 東京学芸大学紀要(総合教育科学系)	6. 最初と最後の頁 247-264
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 内藤千尋・田部絢子・石川衣紀・石井智也・能田昂・柴田真緒・神長涼・高松健太・高橋智	4. 巻 70
2. 論文標題 北欧における子どもの虐待と権利擁護センターの取り組み スウェーデン・アイスランド・ノルウェーへの訪問調査から	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 東京学芸大学紀要(総合教育科学系)	6. 最初と最後の頁 265-279
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 菅井遥・能田昂・高橋智	4. 巻 70
2. 論文標題 東日本大震災が子どもに与えた心理的影響と発達支援の課題 震災6年後の岩手県沿岸部の高校生調査を通して	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 東京学芸大学紀要(総合教育科学系)	6. 最初と最後の頁 281-310
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 石井智也・高橋智	4. 巻 70
2. 論文標題 1900年代の東京市における「特殊小学校」「特殊夜学校(夜間小学校)」の開設と子どもの「貧困・児童労働・不就学」への対応	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 東京学芸大学紀要(総合教育科学系)	6. 最初と最後の頁 311-343
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 高橋智・内藤千尋・田部絢子	4. 巻 6732
2. 論文標題 発達支援の観点で合理的配慮を 発達障害当事者の声に探るその困難と理解・支援ニーズ	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 内外教育	6. 最初と最後の頁 12-14
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 高橋智・内藤千尋・田部絢子	4. 巻 6734
2. 論文標題 伴走的な発達支援が重要 発達障害当事者の声に探るその困難と理解・支援ニーズ (完)	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 内外教育	6. 最初と最後の頁 12-16
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 能田昂・高橋智	4. 巻 55
2. 論文標題 1891（明治24）年濃尾震災における罹災盲人救済活動と岐阜聖公会訓盲院の設立 森巻耳とA.F.チャペルの取り組みを中心に	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 社会事業史研究	6. 最初と最後の頁 23-37
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 高橋智・内藤千尋・田部絢子	4. 巻 64
2. 論文標題 北欧における非行・触法・薬物依存等の発達困難を有する子ども・若者の発達支援の動向 アイスランドとフィンランドの訪問調査から	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 矯正教育研究	6. 最初と最後の頁 93-100
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 高橋智	4. 巻 -
2. 論文標題 発達障害の当事者から学ぶ理解と支援 当事者Aさんの成長発達と社会的自立の課題	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 國學院大學人間開発学部教育実践総合センター第10回夏季教育講座報告：「國學院大學特別支援教育実践フォーラム」 一人一人の願いを実現する教育を目指して	6. 最初と最後の頁 5-21
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 高橋智・石井智也・能田昂	4. 巻 6739
2. 論文標題 子どもの「語り・つづやき」から探る 児童養護施設における発達の困難と支援ニーズ（上）	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 内外教育	6. 最初と最後の頁 6-9
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 高橋智・石井智也・能田昂	4. 巻 6740
2. 論文標題 家族、学校生活に嫌悪や不安 児童養護施設における発達の困難と支援ニーズ（下）	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 内外教育	6. 最初と最後の頁 10-13
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 高橋智・内藤千尋・田部絢子	4. 巻 6743
2. 論文標題 ゆっくりと確実に立ち直る非行少年 発達困難のある少年院在院の少年（上）	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 内外教育	6. 最初と最後の頁 6-10
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 高橋智・内藤千尋・田部絢子	4. 巻 6745
2. 論文標題 強い不信・抵抗感を少しずつ克服 発達困難のある少年院在院の少年（下）	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 内外教育	6. 最初と最後の頁 10-13
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 高橋智・柴田真緒	4. 巻 6748
2. 論文標題 多忙による睡眠不足も 高校生の睡眠の現状と発達支援の課題（上）	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 内外教育	6. 最初と最後の頁 12-15
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 高橋智・柴田真緒	4. 巻 6749
2. 論文標題 慢性的睡眠不足から心身不調 高校生の睡眠の現状と発達支援の課題(下)	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 内外教育	6. 最初と最後の頁 12-15
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 柴田真緒・高橋智	4. 巻 33
2. 論文標題 発達障害の子どもが有する睡眠困難の実態と発達支援のあり方に関する研究 発達障害の当事者・保護者・教師への調査を通して (中間報告)	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 発達研究	6. 最初と最後の頁 139-145
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 田部絢子・高橋智	4. 巻 6753
2. 論文標題 高校生36.9%が「欠食が多い」 高校生の「食」の現状と発達支援の課題(上)	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 内外教育	6. 最初と最後の頁 8-11
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 田部絢子・高橋智	4. 巻 6754
2. 論文標題 好きな食べ物に固執する 高校生の「食」の現状と発達支援の課題(下)	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 内外教育	6. 最初と最後の頁 12-15
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -



1. 著者名 池田敦子・内藤千尋・高橋智	4. 巻 6758
2. 論文標題 多い「対人面の困難」 卒業生調査から探る知的障害特別支援学校の役割と課題（上）	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 内外教育	6. 最初と最後の頁 14-17
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 池田敦子・内藤千尋・高橋智	4. 巻 6760
2. 論文標題 小中に比べ高等部の不適応は大幅減 卒業生調査から探る知的障害特別支援学校の役割と課題（中）	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 内外教育	6. 最初と最後の頁 12-15
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 池田敦子・内藤千尋・高橋智	4. 巻 6761
2. 論文標題 障害特性による仕事の困難も 卒業生調査から探る知的障害特別支援学校の役割と課題（下）	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 内外教育	6. 最初と最後の頁 12-15
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 高橋智	4. 巻 -
2. 論文標題 少年非行・矯正教育機関における発達障害問題の実態と発達支援に関する調査研究	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 第49回2018三菱財団研究・事業報告書	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 高橋智・田部絢子	4. 巻 52 (11)
2. 論文標題 【キーワードでつかむ最新教育改革動向】高校での「合理的配慮」とは	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 月刊高校教育	6. 最初と最後の頁 40-43
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 能田昂・高橋智	4. 巻 25 (1)
2. 論文標題 1891 (明治24)年濃尾震災と石井十次の震災孤児院・岡山孤児院における孤児救済・教育保護の実態	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 SNEジャーナル	6. 最初と最後の頁 102-123
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 柴田真緒・高橋智	4. 巻 25 (1)
2. 論文標題 学齢期の発達当事者の睡眠困難とその背景要因 日常の不安・緊張・恐怖・抑うつ・ストレスとの関連性	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 SNEジャーナル	6. 最初と最後の頁 136-148
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 小野川文字・高橋智	4. 巻 25 (1)
2. 論文標題 全国の特別支援学校寄宿舎の現状と課題 都道府県教育委員会・寄宿舎併設特別支援学校のウェブサイト調査より	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 SNEジャーナル	6. 最初と最後の頁 124-135
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 柴田真緒・高橋智	4. 巻 71
2. 論文標題 発達障害を有する子ども・若者の睡眠困難に関する研究動向 海外動向を中心に	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 東京学芸大学紀要（総合教育科学系）	6. 最初と最後の頁 193-125
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている（また、その予定である）	国際共著 -

1. 著者名 石井智也・高橋智	4. 巻 71
2. 論文標題 総力戦体制下の初等教育改革と養護学級・学校の制度化 国民学校令（1941年）の制定を中心に	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 東京学芸大学紀要（総合教育科学系）	6. 最初と最後の頁 207-232
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている（また、その予定である）	国際共著 -

1. 著者名 能田昂・高橋智	4. 巻 71
2. 論文標題 長崎における濃尾震災（1891年）の救恤義援活動と長崎盲啞院の設立 長崎慈善会・安中半三郎と野村惣四郎の取り組みを中心に	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 東京学芸大学紀要（総合教育科学系）	6. 最初と最後の頁 233-250
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている（また、その予定である）	国際共著 -

1. 著者名 内藤千尋・田部絢子・高橋智	4. 巻 65
2. 論文標題 「発達上の課題を有する在院者に対する処遇プログラム実施ガイドライン」の検討と改善課題 発達上の課題・困難を有する少年院在院者への面接法調査を通して	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 矯正教育研究	6. 最初と最後の頁 114-121
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 高橋智・内藤千尋・田部絢子	4. 巻 131(4)
2. 論文標題 少年院における発達上の課題・困難を有する少年への面接・発達相談の試み	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 刑政	6. 最初と最後の頁 42-51
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 高橋智・池田敦子・田部絢子	4. 巻 48(1)
2. 論文標題 当事者のニーズから考える知的障害教育の機能・役割	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 障害者問題研究	6. 最初と最後の頁 34-39
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 柴田真緒・高橋智	4. 巻 34
2. 論文標題 発達障害の子どもが有する睡眠困難の実態と発達支援のあり方に関する研究 発達障害の当事者・保護者・教師への調査を通して	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 発達研究	6. 最初と最後の頁 83-94
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 高橋智・田部絢子	4. 巻 137(1)
2. 論文標題 発達障害当事者の有する「食の困難」と支援のポイント	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 臨床栄養	6. 最初と最後の頁 2-4
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 高橋智	4. 巻 54(9)
2. 論文標題 【講座・感覚の問題に注目しよう！第1回】発達障害当事者調査から探る感覚過敏の諸相と支援	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 作業療法ジャーナル	6. 最初と最後の頁 992-999
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 柴田真緒・平井優美・高橋智	4. 巻 26(1)
2. 論文標題 発達障害を有する子ども・若者のSNS使用の現状と課題 当事者調査から	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 SNEジャーナル	6. 最初と最後の頁 103-116
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 石井智也・高橋智	4. 巻 26(1)
2. 論文標題 昭和初期における東京市教育局の教育改善事業と多様な困難を抱えた子どもの特別学級編制	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 SNEジャーナル	6. 最初と最後の頁 64-83
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 能田昂・高橋智	4. 巻 26(1)
2. 論文標題 濃尾震災（1891年）による愛知県下の子ども・学校の被災実態と教育復興 災害時に露呈する子どもの生命の位置づけを中心に	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 SNEジャーナル	6. 最初と最後の頁 84-102
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 田中裕己・田部絢子・内藤千尋・高橋智	4. 巻 26(1)
2. 論文標題 児童心理治療施設入所の子どもが有する発達困難と発達支援の課題 全国の児童心理治療施設職員調査から	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 SNEジャーナル	6. 最初と最後の頁 150-161
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 高橋智・田部絢子・田村文誉・水上美樹	4. 巻 526
2. 論文標題 発達障害など感覚に特性がある子どもの偏食の悩みと解決のヒント	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 歯科衛生士	6. 最初と最後の頁 47-61
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 高橋智・柴田真緒	4. 巻 898
2. 論文標題 コロナ禍と特別ニーズをもつ子どもの発達支援 保護者・教師調査から	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 教育	6. 最初と最後の頁 23-30
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 高橋智・内藤千尋・田部絢子	4. 巻 67
2. 論文標題 少年院在院者の支援ニーズからみた少年院・矯正教育の検討課題	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 矯正教育研究	6. 最初と最後の頁 104-111
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 高橋智・田部絢子	4. 巻 55(13)
2. 論文標題 高校の特別支援教育の進捗状況と課題	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 月刊高校教育	6. 最初と最後の頁 22-25
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 高橋智	4. 巻 28(1)
2. 論文標題 特別ニーズ教育の「特別ニーズ」についての学史的検討 SNE学会設立10年間の議論のレビューから	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 SNEジャーナル	6. 最初と最後の頁 5-22
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 内藤千尋・田部絢子・高橋智	4. 巻 68
2. 論文標題 少年院における発達上の課題・困難を有する少年の発達支援に係る研究動向	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 矯正教育研究	6. 最初と最後の頁 90-97
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

〔学会発表〕 計27件（うち招待講演 0件 / うち国際学会 0件）

1. 発表者名 能田昂・田部絢子・石井智也・高橋智
2. 発表標題 新型コロナ後遺症 (Long COVID) と子どもの発達困難に関する議論の動向
3. 学会等名 日本教育学会第81回大会 (オンライン・ハイブリッド開催・広島大学)
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 田部絢子・内藤千尋・石井智也・柴田真緒・石川衣紀・能田昂・池田敦子・高橋智
2. 発表標題 コロナ禍における障害・疾病等を有する子どもの発達リスクと発達支援に関する国内外の動向
3. 学会等名 日本教育学会第81回大会（オンライン・ハイブリッド開催・広島大学）
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 能田昂・田部絢子・石井智也・石川衣紀・内藤千尋・池田敦子・柴田真緒・高橋智
2. 発表標題 デンマークにおける病気の子どもの教育ケアの動向
3. 学会等名 日本特殊教育学会第60回大会（つくば国際会議場）
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 高橋智・田部絢子・石井智也・石川衣紀・能田昂・内藤千尋・池田敦子・柴田真緒
2. 発表標題 スウェーデンにおける病気の子どもの教育ケアの動向
3. 学会等名 日本特殊教育学会第60回大会（つくば国際会議場）
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 池田敦子・田部絢子・石井智也・内藤千尋・能田昂・石川衣紀・柴田真緒・高橋智
2. 発表標題 デンマークにおける肢体不自由（運動障害）教育システムの動向 インクルーシブ教育における肢体不自由（運動障害）特別学校・学級の意義と役割
3. 学会等名 日本特殊教育学会第60回大会（つくば国際会議場）
4. 発表年 2022年



1. 発表者名 石井智也・田部絢子・内藤千尋・能田昂・石川衣紀・池田敦子・柴田真緒・高橋智
2. 発表標題 特別支援学校の自立活動に関する動向と課題 「肢体不自由・病弱」領域を中心に
3. 学会等名 日本特殊教育学会第60回大会（つくば国際会議場）
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 田部絢子・石井智也・内藤千尋・能田昂・石川衣紀・池田敦子・柴田真緒・高橋智
2. 発表標題 特別支援学校の自立活動に関する動向と課題 「知的障害」領域を中心に
3. 学会等名 日本特殊教育学会第60回大会（つくば国際会議場）
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 石川衣紀・田部絢子・石井智也・内藤千尋・池田敦子・能田昂・柴田真緒・高橋智
2. 発表標題 特別支援教育におけるICT利活用に関する動向と課題 視覚障害・聴覚障害教育を中心に
3. 学会等名 日本特殊教育学会第60回大会（つくば国際会議場）
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 石川衣紀・池田敦子・能田昂・田部絢子・内藤千尋・石井智也・柴田真緒・高橋智
2. 発表標題 北欧のコロナ禍における障害・疾病等を有する子どもの「生活・学習・発達」の困難・リスクと発達支援の動向 肢体不自由・重度重複障害・疾病を中心に
3. 学会等名 日本子ども学会学術集会第18回こども学会議（東海学院大学）
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 柴田真緒・石井智也・田部絢子・能田昴・内藤千尋・石川衣紀・池田敦子・高橋智
2. 発表標題 北欧のコロナ禍における障害・疾病等を有する子どもの「生活・学習・発達」の困難・リスクと発達支援の動向 知的障害・発達障害を中心に
3. 学会等名 日本子ども学会学術集会第18回こども学会議（東海学院大学）
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 高橋智
2. 発表標題 コロナ禍における子どもの「生活と発達の危機」と学校教育の意義・役割 子どもの「生活と発達の危機」に関するレビューと実態調査から考える
3. 学会等名 日本教育学会第80回大会「公開シンポジウム コロナが投影する学校教育の『本質』」（オンライン・筑波大学）
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 能田昴・石川衣紀・田部絢子・高橋智
2. 発表標題 北欧諸国におけるコロナ禍の子どもの発達危機と発達支援に関する動向
3. 学会等名 日本教育学会第80回大会（オンライン・筑波大学）
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 石川衣紀・田部絢子・能田昴・高橋智
2. 発表標題 フィンランドにおけるコロナ禍と子どもの発達危機に関する動向
3. 学会等名 日本特殊教育学会第59回大会（オンライン・筑波大学）
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 能田昂・田部絢子・石井智也・高橋智
2. 発表標題 北欧諸国におけるコロナ禍と子どもの発達危機に関する動向 デンマーク・アイスランドを中心に
3. 学会等名 日本特別ニーズ教育学会第27回研究大会（オンライン・東海大会）
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 内藤千尋・田部絢子・石井智也・石川衣紀・能田昂・池田敦子・高橋智
2. 発表標題 スウェーデンにおける精神障害者の地域ケア 精神障害当事者支援組織「フォンテンヒュス・フェンダール支部」の訪問調査から
3. 学会等名 日本特別ニーズ教育学会第27回研究大会（オンライン・東海大会）
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 石川衣紀・田部絢子・石井智也・内藤千尋・池田敦子・能田昂・柴田真緒・高橋智
2. 発表標題 スウェーデンにおけるインクルーシブ教育と肢体不自由（移動障害）教育の動向
3. 学会等名 日本特別ニーズ教育学会第27回研究大会（オンライン・東海大会）
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 石川衣紀・田部絢子・内藤千尋・石井智也・能田昂・柴田真緒・池田敦子・高松健太・田中裕己・高橋智
2. 発表標題 北欧における子ども虐待の実態と防止支援システムの研究 北欧5カ国の「子ども虐待対応センターBarnahus」等の訪問調査から
3. 学会等名 日本教育学会第78回大会（学習院大学）
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 石川衣紀・田部絢子・内藤千尋・石井智也・能田昂・柴田真緒・池田敦子・高松健太・田中裕己・高橋智
2. 発表標題 スウェーデンにおける障害者の学び直しと生涯学習の保障 「ヴェスタンヴィーク聴覚障害国民大学 (Vastanviks folkhögskola)」の訪問調査から
3. 学会等名 日本特殊教育学会第57回大会 (広島大学)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 田部絢子・石川衣紀・内藤千尋・石井智也・能田昂・柴田真緒・池田敦子・高松健太・田中裕己・高橋智
2. 発表標題 スウェーデンにおける子どもの摂食障害と当事者支援 当事者組織「FRISK&FRI」の訪問調査から
3. 学会等名 日本特殊教育学会第57回大会 (広島大学)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 能田昂・田部絢子・石川衣紀・内藤千尋・石井智也・柴田真緒・池田敦子・高松健太・田中裕己・高橋智
2. 発表標題 デンマークにおける特別学校 (知的障害・自閉症) と発達支援 「Brøndagerskolen」と「Grydemoseskolen Team V」の訪問調査から
3. 学会等名 日本特殊教育学会第57回大会 (広島大学)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 石井智也・田部絢子・石川衣紀・内藤千尋・能田昂・柴田真緒・池田敦子・高松健太・田中裕己・高橋智
2. 発表標題 デンマークにおける重度障害児の生活ケアと発達支援 「障害児センター・白鳥の家 (Center for Born med Handicap Svanehuset)」の訪問調査から
3. 学会等名 日本特殊教育学会第57回大会 (広島大学)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 石川衣紀・田部絢子・内藤千尋・石井智也・能田昂・柴田真緒・池田敦子・田中裕己・高橋智
2. 発表標題 スウェーデンにおける「引きこもり」の若者支援プロジェクトの研究 「FINSAM」への訪問調査から
3. 学会等名 日本子ども学会第16回子ども学会議（首都大学東京）
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 石井智也・田部絢子・石川衣紀・内藤千尋・池田敦子・能田昂・柴田真緒・田中裕己・高橋智
2. 発表標題 スウェーデンの多様な発達困難を有する若者支援 BRISへの訪問調査を通して
3. 学会等名 日本子ども学会第16回子ども学会議（首都大学東京）
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 田部絢子・石川衣紀・内藤千尋・石井智也・能田昂・柴田真緒・池田敦子・田中裕己・高橋智
2. 発表標題 スウェーデンにおける子どもの摂食障害と発達支援 摂食障害センター・摂食障害当事者団体への訪問調査から
3. 学会等名 日本発達神経科学会第8回学術集会（京都大学・芝蘭会館）
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 石川衣紀・田部絢子・内藤千尋・石井智也・能田昂・柴田真緒・池田敦子・田中裕己・高橋智
2. 発表標題 スウェーデンにおける若者の「ひきこもり」問題と発達支援 若者支援プロジェクト「FINSAM」への訪問調査から
3. 学会等名 日本発達神経科学会第8回学術集会（京都大学・芝蘭会館）
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 石井智也・田部絢子・石川衣紀・内藤千尋・能田昂・柴田真緒・池田敦子・田中裕己・高橋智
2. 発表標題 スウェーデンにおける多様な発達困難を有する若者の発達支援 「BRIS (Barnens Rätt i Samhället社会における子どもの権利)」への訪問調査から
3. 学会等名 日本発達神経科学会第8回学術集会(京都大学・芝蘭会館)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 能田昂・田部絢子・石川衣紀・内藤千尋・石井智也・柴田真緒・池田敦子・田中裕己・高橋智
2. 発表標題 デンマークにおける重度重複障害(知的障害・自閉症)を有する子どもの教育保障 特別学校の訪問調査から
3. 学会等名 日本発達神経科学会第8回学術集会(京都大学・芝蘭会館)
4. 発表年 2019年

〔図書〕 計4件

1. 著者名 田部絢子・高橋智	4. 発行年 2019年
2. 出版社 風間書房	5. 総ページ数 347
3. 書名 発達障害等の子どもの食の困難と発達支援	

1. 著者名 加瀬進・高橋智編著	4. 発行年 2019年
2. 出版社 放送大学教育振興会	5. 総ページ数 240
3. 書名 特別支援教育総論	

1. 著者名 柴田真緒・高橋智	4. 発行年 2020年
2. 出版社 風間書房	5. 総ページ数 358
3. 書名 発達障害当事者の睡眠困難と発達支援の研究	

1. 著者名 高橋智・加瀬進監修 / 日本特別ニーズ教育学会編	4. 発行年 2020年
2. 出版社 文理閣	5. 総ページ数 318
3. 書名 現代の特別ニーズ教育	

〔産業財産権〕

〔その他〕

-

6. 研究組織

	氏名 (ローマ字氏名) (研究者番号)	所属研究機関・部局・職 (機関番号)	備考
研究分担者	高橋 智  (Takahashi Satoru)  (50183059)	日本大学・文理学部・教授   (32665)	
研究分担者	田部 絢子  (Tabe Ayako)  (70707140)	金沢大学・学校教育系・准教授   (13301)	
研究分担者	内藤 千尋  (Naitoh Chihiro)  (30734074)	山梨大学・大学院総合研究部・准教授   (13501)	

6. 研究組織（つづき）

	氏名 (ローマ字氏名) (研究者番号)	所属研究機関・部局・職 (機関番号)	備考
研究分担者	石井 智也  (Ishii Tomoya)  (90803502)	兵庫教育大学・学校教育研究科・講師    (14503)	
研究分担者	能田 昴  (Nohda Subaru)  (00803917)	尚絅学院大学・総合人間科学系・講師    (31311)	

7. 科研費を使用して開催した国際研究集会

〔国際研究集会〕 計0件

8. 本研究に関連して実施した国際共同研究の実施状況

共同研究相手国	相手方研究機関